



令和5年度 第31号  
令和5年 10月16日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

各クラスで研究授業が行われています。研究授業を行うことが、子どもの力を向上させます。

#### 【4年生研究授業】



4年生玉井学級で道徳の研究授業が行われました。資料名は、「心と心のあくしゅ」です。親切、思いやりについて考える授業でした。「本当の親切とは何か」よく問われることですが、状況によっていくつも親切の在り方があると思います。4年生はその親切の多様性について考えていきました。足の不自由なおばあさんの荷物をもとうとした主人公。しかし、おばあさんは自分で歩くための練習をしている。「自分には何ができるのか?」「何もせず、見守ることも親切なのか?」4年生の子どもたちは、しっかりと考

えていきました。玉井先生は、本年度採用の先生です。初任者研修があるので、とても多用な毎日を送っています。しかし、プロの教師として、研究授業もちゃんとやるのです。その玉井先生の努力に4年生の子どもたちが応えた授業になっていたと校長先生は思ったのでした。

#### 【みんなの先生の授業】

田畑先生は「みんなの先生」です。全学年の子どもたちの学習支援を行うという本荘小学校にとって大変重要な役目を受け持ってもらっています。と同時に国語授業のスペシャリストでもあります。個人の感想になりますが、熊本市内の国語の授業者としては間違いなくトップクラスの先生です。その田畑先生が、6年生で研究授業を行いました。単元名は、「インターネットの議論を考えよう」(東京書籍)です。私校長も教諭時代はかなり授業研究を熱心にやっていました。授業の腕では誰にも負けたくないと思って研鑽を積んできました。しかし、田畑先生



の国語の授業はさすがだと感心します。

「何かに対して意見や主張を述べるとき、どのような工夫をすれば、読み手により説得力を持って伝えることができるか」という学習課題に対して、インターネット上の投稿を読み比べながら、6年生は論議をするのですが、これがまた、すばらしかったのです。教科書に掲載されているいくつかの投稿を比較し、その主張や論点を探り、それぞれのよさや課題について考察していきます。そして、各自の考察を意見として「論じる」のです。私たちが子どもの頃はこんな論議はできませんでした。論議に必要なことは「事実」「数値」等の具体的なデータです。6年生はそのことを前提に話し合いをしていました。大変ためになる研究授業だったと思います。



やはり、教師の力を向上させるのは、研究授業なのです。(校長) ※裏面は「虫眼鏡」です

# 校長先生の虫眼鏡 「運動会秘話 リレー練習」

リレーの練習の様子です。本番さながらの練習風景です。



でも、最初からこうではありません。一つ一つ順番に学んでいったのです。



一番初めは、並び順を決めるところから（笑）短期間でよくそ成長したものです。

みんながんばったね。